

医療と介護 まとめて安心

苓北町の天草慈恵病院を運営する社会医療法人「稻穂会」は1日、同病院に併設する形で、高齢者らが生活しながら医療を受けられる介護施設「介護医療院」を開いた。医療院の開設は県内初。

同病院によると、医療院は、2023年度末に廃止される介護療養病床の受け皿になる。医師が常駐し、医療を必要とする要介護度1以上の高齢者らの

ニーズに応える。49床に35人が入所。医師4人や看護職員9人、介護職員11人が対応する。病室のベッドの間に仕切りを設置し、個人のプライバシーに配慮する。自立支援や地域貢献などにも力を入れる。

法人の永野忠相理事長(45)は「安心して医療を受けながら、生活できる場所を提供したい」と話した。

(中島忠道)



個人のプライバシーに配慮するため、介護医療院に設置された間仕切り。苓北町